

富士青年会議所が行った「富士市中高生意識調査」に関する感想

富士市議会議員

荻田丈仁

日頃より青年会議所活動での富士市の青少年育成活動やまちづくり活動等に尽力して頂いていることに感謝申し上げます、今回行った富士市の中高生意識調査として9項目のアンケートについて、2750名の多くの中高生の声をまとめて頂いたことに御礼を申し上げます。頂いた貴重なアンケート結果を拝見させてもらった中での意見と言うより感想を記載させていただきます。

Q1では富士市に住んでいない中高生が7.6%と市外から通ってきていることが推測できますが、逆に市外に出ている中高生も多くいることは考えられます。中高生が富士市から流出することなく、市外より多くの学生を受け入れられる環境は整備すべきと感じます。Q2ではできれば高校生の意見はもっと聞きたい思いはあります。Q3の富士市の事を好きと答えた方が41.2%と半分に満たない状況は驚きました。Q4の魅力については、もっと若い人たちに様々な富士市の魅力に気づき知ってもらい、好きになって貰いたいという思いは強いです。そのための発信は重要であると感じます。若い人たちが富士市を嫌いである方が多いのは、それだけ富士市にQ5Q6での不満も多く、魅力や郷土愛を感じない課題に対してはQ7の富士市を好きになって貰えるような若者が求める施策は今回のアンケートを基に富士市での今までの取組や現在取組んでいることを含め検討すべきことであると思っています。

Q8での「富士市議会議員が意見を議会に届け行動してくれますか」については、20.7%と大変低い結果が出ていることを真摯に受け止めなければいけないことであると感じています。もっと市会議員の活動を身近に知って頂く必要性を強く感じました。市会議員は選挙で市民に選ばれて議員になります。民主主義では市会議員は賢い人やお金持ちがなるのではなく選挙で選ばれなければ市会議員になれません。選ばれた人は、市民の声をしっかりと市政へ伝える役割は担っています。富士市には32人の市会議員がいますので、32人の1人1人が市民の声を聴き安全・安心で住みやすい富士市の魅力をアップしていかなければならないと思っています。特にこれからの未来を担う若い人の思いは貴重であります。これは市会議員としての要望ですが、不平や不満だけでは富士市は良くなりません。どんなことでも構いませんので議員に気軽に話しかけてください。また、Q9での情報の掲載についても半分以上が興味ない事への対応は必要であると感じました。今後、若い人が興味を持ってもらうような発信を心掛けていきたいと強く感じます。

人口減少、少子高齢化が加速化する中で、若い人たちにとって魅力あるまちづくりは求められています。現在、人口流出を抑えるだけでなく、関係人口の創出が重要となっています。今回の調査はもとより、他のアンケート等での要望も含め若い人たちの声を

しっかりと市政に反映するよう行動しますので、ぜひとも多くの皆さんの声を市会議員に伝えてください。今回の貴重なアンケート結果は精査したうえで活用はもとより、さらに富士市議会議員は、若い人たちの未来のために、幅広く意見を聞く機会は設けていかなければいけないと思っています。今後ともよろしく願いたします。